

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



見返れば昭和の桜父の影
 旭町 宝澤 房子
 桜芽のふつくらとして風さそふ
 西原町 児玉久美子
 春暁の夢の半ばの手水かな
 仲町 玉野 研一
 夕暮れに声をこぼしつ帰雁かな
 南桜町 宮腰 幸子
 やちぶきの光の奥の妣の背
 緑町 池田 良子

耕せばやさしき雨に土にほふ

西町 金澤 頼子
 野菜種蒔いて常の日新たとす

元町 印牧 安子
 初夏の日や谷間にひそと鳥の声

緑町 齋藤 嘉子
 老どちの集ふサロンや辛夷咲く

仲町 坂部 和子
 夏帽子選ぶ鏡のゆずりあい

元町 西崎 弘子
 耕しは馬を頼りの昭和の世

屯田町 古屋 克江
 水音の軽くはずんで夏に入る

仲町 梅基 文字
 牧柵のペンキ塗替夏来る

旭町 大河 博子
 はらからの元気でいてといちご来る

西町 岸波 君江
 渋滞の覚悟の旅やこどもの日

西町 杉浦とし枝
 苺のるケーキが主役誕生日

藤本町 鈴木ゆき子
 思い出を尋ねてゆかな桐の花

東町 高草木喜代子
 八十の苺の株の実をまてり

西岡町 高瀬久美子
 指切りの児との約束苺狩り

東町 高橋世津子
 湿原の広がる緑風の波

西町 文梨 清子
 帰省孫の待つ空港の星月夜

旭町 大河 茂
 歌い継ぐ心の演歌北こぶし

仲町 芳賀 星子



『ほら なにもかも おちてくる』

文ジーン・ジオン
 絵マーガレット・プロイ・グレアム
 訳まさき るりこ (瑞雲舎)

はなびらが、テーブルの
 うえに音もなくおちたり、
 ふんすいのおちたり、
 普段の生活で見逃してしま
 いそうな、当たり前にか
 起きていることの素晴らし
 さに気づかされる絵本で
 す。



information 絵本の館 から

新着図書

- ・絵本といっしょにまっすぐまっすぐ (鈴木潤著)
- ・あやしの保健室2 (染谷果子著)
- ・ライバル・オン・アイス3 (吉野万理子著) ほか

今月のおすすめ絵本



『ねこのたくはいびん』

作奥野 涼子 (講談社)

にゃんた一家が友達のねこきちさんの家にプレゼントを送ろうとしています。ねこきちさんの家は遠いので宅配便で送ることに。送ったプレゼントはどうやって配達されるのでしょうか？宅配便が働く仕組みがわかるお話です。